

じょうさい smile

城西中学校だより

令和7年2月28日

校長 家永 裕行

月日の経つのは早いです（全校朝会の話 2月18日）

一月往ぬる、二月逃げる、三月去る（いちげついぬる、にげつにげる、さんげつさる）
と言い方があります。「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」という意味で、正月から3月までは行事が多く、あっという間に過ぎてしまうことを、調子よく言ったものです。

3年生が卒業式まで学校に来るのは、県立一般入試の2日間を除くと、あと10日です（今日の時点ではあと3日）。また、1年生、2年生が修了式までに学校に来るのはあと22日です（今日の時点では、1年生は卒業式の日^{そとあ}は自宅学習のためあと14日、2年生はあと15日）。

ここで新年の抱負を思い出してみましょう。「スマートフォンを触る時間を減らす」「部屋をきれいにする」「勉強をがんばる」「部活動（社会体育）をがんばる」「家の手伝いをする」「友だちと仲よくする」などの抱負を立てた人もいるでしょう。取組状況はどうですか。1年の約13%（今日の時点では約16%）が過ぎました。うまくいっている人はその調子。うまくいっていない人は挽回しましょう。

光陰矢のごとし。光は日、陰は月を意味して、それが飛ぶ矢のようだと言っています。月日が経つのが早いことのたとえです。1年生の皆さん、あと2ヶ月で2年生です。後輩が入学してきます。2年生の皆さん、あと2ヶ月で3年生です。学校の新しいリーダーです。3年生の皆さん、もう少しで卒業です。義務教育が終わります。

以前、サクラダ・ファミリア聖堂に魅せられた外尾悦郎さんの話をしました。佐賀新聞「きょうの言葉」に外尾さんの「本当にやりたいと思っていることがいつか来るだろう、その瞬間に大事な時が来るだろうと思っても、いま真剣に目の前のことをやらない人には決して訪れない。憧れているその瞬間こそ、実はいま」という言葉が取り上げられていました。憧れの仕事や選手に近づくためには、日々の努力が大切だということを言っているのだと思います。

さあ、今年度もラストスパートです。家族や友だち、お世話になった人に「ありがとう」や「ごめんね」が言えるといいですね。目の前のことをひとつずつ、ひとつずつ。日々の掃除にも丁寧に取り組みましょう。

最後に県立一般入試を受ける3年生。あと少し、あと少し。がんばれ。

学校行事・PTA活動のひとこま

3学期人権集会（2年生担当）

人権集会は2月6日にリモート形式で開催されました。生徒が主体となって企画や運営を行いました。今回は『しあわせのバケツ』（キャロル・マッククラウド作、デヴィッド・メッシング絵、TO ブックス）の絵本の読み語りを行いました。

絵本カバーには、「世界中のどんな人も、心にバケツを持っています。そのバケツは人を喜ばせるといっぱいになり、嫌なことをすると空になってしまいます。誰もがお互いを思いやり、親切にすれば、みんなが笑顔で幸せになれる」というメッセージが添えられており、読み語り後、実行委員長が自分の



教室の様子（2年生）

言葉で全校生徒に伝えました。

実行委員4名は1月20日から準備を始め、読み語りの練習をしたり、司会や進行の打ち合わせをしたりして当日に備えました。実行委員のがんばりでしっかりと時間を過ごすことができました。実行委員のバケツはもちろん、そのような時間を過ごすことができた全校生徒や職員のバケツも、かさが増したように思えました。ありがとう。

(生徒感想)

- ・人はたった1秒で人をうれしくさせますし、いやな気持ちにもさせてしまいます。その1秒をどうするかが、しあわせのバケツをためるために重要なことだと思います。(2年生)
- ・いつも優しい人はバケツがいっぱいで、みんなのバケツをいっぱいにしてくれているんだと思った。いつも助けてくれたり、優しくしてくれたりする人に「ありがとう」と言うことで、バケツをいっぱいにしてもらうだけでなく、お返しできるようになりたいと思った。(2年生)
- ・幸せになれる言葉や行動を積み重ねていくと、自分のバケツもうまるし、相手のバケツもうまって、どちらも幸せになれるんだと思いました。(1年生)
- ・あいさつなど、ちょっとしたことでもしあわせのバケツはいっぱいになるし、たくさんの人があいさつを続けたり、いじめなどの悪いことをなくしたりするとみんなのバケツがいっぱいになって、しあわせになるかなと思いました。(1年生)

ゆうあいロードに花を植えようプロジェクト（PTA・生徒会共催企画）

ゆうあいロードの空いた花壇に花を植え、卒業生を感謝の気持ちで見送ることや、校内の環境整備を行うことで明るく落ち着いた雰囲気の中で学年末を迎えられることを目的にこのプロジェクトはスタートしました。

2月14日放課後、生徒会やボランティアによる土づくりが行われました。生徒はスコップを手に持って土を丁寧に返して、柔らかくしました。21日放課後、重ねた廃タイヤにペンキで色を塗りました。タイヤには土が入っており、地面だけでなく、ここにも花を植えることができます。例えるなら大きな植木鉢です。そして昨日(27日)、PTAの方や各クラスの環境委員、ボランティアと一緒に花を植えました。環境委員長が段取りを分かりやすく示してくれたので、円滑に作業を進めることができました。

色とりどりの花々が卒業生の門出を祝福してくれそうです。プロジェクトに参加をしてくれた人すべてにありがとう。



【小さい写真左上から時計回りに】土を返して柔らかくしました(2月14日)、タイヤにペンキで色を塗りました(2月21日)、花を植えました(2月27日)、花壇の様子、黄色と青色の看板を設置しました(2月27日)

【大きい写真】花植えを終えて集合写真(2月27日)